



～ひかり～



11月生活目標：からだをきたえよう

令和5年11月21日 文責：校長 徳弘

心を込めた合唱 心を揃えた合奏—校内発表会・中央区音楽祭—

“芸術・文化の秋”運動会が終わると、各学級では書・画・文詩の作品作りに励んできました。並行して5・6年生は、10月の四万十市三原村陸上記録会と、中央区（四万十市三原村）音楽祭に向けて、5年生は合唱を、6年生は合奏を磨きあげる学習を重ねてきました。

その成果を、11月7日（火）に『校内発表会』として全校児童と先生方と保護者の方々に、そして、10日（金）には4年ぶりに開かれた『中央区小学校音楽祭』で他校の子ども達に発表披露しました。また、4月から練習を重ねてきた合唱部は、中央区音楽祭に続いて11日（土）の『幡多地区小中学校連合音楽祭』にも出場しました。5・6年生、合唱部共に、普段の授業や他の教育活動とは違った素敵な姿が見られ、いずれのステージも、これまでの練習の成果と今ある自分達の力を存分に発揮した素晴らしい発表となりました。



●6年合奏：『情熱大陸』



水泳の特別練習とセットで、水泳チームと音楽チームに分かれた先生方の指導体制により、夏休みからパート練習に取り組んできた6年生の合奏。運動会後から、本格的に全体練習を重ねました。作曲者でもある葉加瀬太郎さんが常に演奏し、テレビでも度々流れる軽快で起伏と変化に富んだ曲に、練習の時から子ども達はノリノリで、それぞれのパートの輝きと曲全体の調和を大切に、楽しみながら合奏曲を磨いてきました。

本番ステージでは、心を一つに、ピアノやアコーディオンやピアノでメロディを作りながら、木琴や鉄筋の快い響きで曲に厚みや変化を付け、テンポのいい打楽器メンバーの息の合ったリズムで軽快で心地よい雰囲気を作って会場全体の手拍子を誘い込み、盛り上がりのある感動的なステージになりました。「校長先生、6年生の合奏、良かったですね。感動しました。」保護者の方からも嬉しい感想が聞けました。さすが6年生。また一つ今の6年生の一人一人の個性が輝き、まとまりの素晴らしさが際立つ思い出が増えました。





● 5年合唱：「レッツ テイク ア チャンス」 伴奏：祖父江さん
 「ハローシャイニングブルー」 伴奏：齋藤（右写真）

伴奏のプロ祖父江志穂先生と練習を積んだ齋藤心乃さんの伴奏に乗っての合唱。岩井先生の指揮に集中して、曲の世界、歌詞の世界に、心も身体も吸い込まれるように入り込み、友達の歌声もしっかりと聞きながら自分のパートを堂々と歌って、心が一つになった落ち着いたある素敵な歌声が会場に響きました。客席にいと、自分達の歌声を客席に届けたい、自信をもって表現したい…そんな表情と態度で、リズムに乗った軽快感あり、力強さあり、優しさありのメリハリのある心地よいハーモニーが気持ちよく耳に心に響いてきました。

実は、練習が始まった時には、自分本位な声やリズムで歌う子が多く、正直、合唱になるのだろうか？と心配して見ていました。岩井先生や田畑先生のご指導から学び、やがて、周りの友達の歌声をしっかり聞きながら自分の歌声を美しく出そうという雰囲気になり、技能を習得して上達したように思います。また、今の6年生が5年生の時に素晴らしい合唱を発表したイメージもきっと5年生の頭や心の中にあっただけでしょう。最後の「やー！」の迫力に会場全体がまたビックリ。他校の先生方から「中小の5年生の合唱、美しく素晴らしかったですね。」という褒めの言葉をいただきました。みんなで心を揃えて、美しい歌の世界を創り、みんなの中で自分を表現しようと成長した5年生、これからはまた楽しみです。



● 合唱部：「この地球のどこかで」・「星の大地に」 伴奏：祖父江 志穂さん
 歌唱：松岡 乾 ハシミ 堀川 山本 岡田
 柿葉 谷口 長崎 福原 矢野 竹山

4月から美しい声の出し方を磨き、夏休みから本格的に音楽祭に向け、一音一音を丁寧に歌う歌い方で、曲や歌詞の世界のイメージや流れを大切に、きめ細かな練習を重ねました。今年は、12人の少数メンバーでしたが、しっかりとした6年生に、やる気のある4・5年生が、「何としても合唱部の活動を続け頑張りたい！」という志をもって、いつ練習を観に行っても、明るく仲良く和やかに、そして、岩井先生や美口先生やピアノ伴奏の祖父江先生の厳しく温かい専門的なご指導を素直に受けて、限られた時間内でもっともいい練習ができていました。



祖父江さんの伴奏は 練習でも本番でも子ども達の声を巧く引き出してくれました

岩井先生の指揮に合わせ、12人でカー杯 心一杯の合唱

その成果が、中央区音楽祭や幡多地区音楽祭で発揮できました。声そのものの美しさ、音の重なりや曲の美しさが伝わる素敵な歌声を文化センターホールに響かせ、聞いている人に感動を与えてくれました。幡多の音楽祭は小学校で唯一の出場でしたが、歌った後、中学校の先生から「中小の歌声は天使の声のようだった。」との声をいただきました。合唱部の子ども達からも、「最初は緊張したけど、歌った後にやりきった！という達成感がありました。」という嬉しく頼もしい感想も聞きました。12人で心を一つに柔らかく清らかな心が伝わってくる真心のこもった美しい歌声を響かせ、カー杯心一杯の合唱で涙が出るような感動をありがとう！



英語のコミュニケーション力を育てる：6年 外国語科授業研究会

学習指導要領の趣旨や内容に沿った授業、中村中学校と共に小中学校9年間を見通した資質・能力＝学ぶ力を育てる授業づくりを追究してきた高知県教育委員会『高知の授業の未来を創る』推進プロジェクトにおける実践研究協働校事業（3年間）も最終年度を迎えました。

令和3年度は国語科と算数科を、令和4年度は体育科と理科を、そして、今年度は、前期の社会科〔5年2組：伊与田紗代教諭〕に続いて、後期は外国語科〔6年2組：横内 悠教諭〕で、『Let's think about our food.』～ALTの母国の料理を知ろう～という単元を展開しました。「ALTの母国の料理を給食メニューで実現するために、ALTとどのようなやり取りをすればよいか」という問いを一貫して追究しながら、外国語における見方・考え方を働かせて、児童の英語コミュニケーション力を育てる授業、“主体的・対話的で深い学び”を実現する授業を、本校の教員及び中村中学校外国語部会の先生方と共に追求しました。

その一端を公開する授業研究会を、10月26日（木）に開きました。授業では、これまでの学習を生かしつなげながら、「ALTの母国の料理を給食メニューで実現すること」を目的に、ALTの母国の料理と合わせて、一緒に栄養バランスを考える際に、ALTにどのようなことを聞くとよいのか、既習や必要な表現を考え、やり取りの練習をする学習を行いました。ペア学習で相手を変えながら、友達とやり取りする活動が多く設定されていましたが、子ども達は、これまで学習した表現を積極的に使ったり、あいづちやリアクションなど主体的にコミュニケーションを図ろうとする姿が多く見られました。今後も、外国語によるコミュニケーションの基礎を養い、中学校への円滑な接続に向けた学ぶ力の育成を目指していきます。



多数の先生方が
いても臆せず
明るく笑顔で
いつもの学習！
頑張りました！！

Nice Combination 横内先生&エミリーALT



タブレットも
活用して…



入賞おめでとう

税に関する作品展 習字の部：幡多租税教育推進協議会

【税の作品展のご案内】

11月16日(木)~28日(火)

◆いちじょこさん市場[一条通]

●四万十市租税教育研究会会長賞● 3年…安田 乃禾
4年…江崎 蒼葉 5年…近藤 絆菜 齋藤 心乃

四万十市教育文化展：四万十市教育文化展実行委員会



	画の部	書の部	詩の部
1年	乾 大 崎 岡 本 濱 田 船 越 有 友 植 村 岡 村 野 元 宮 地	朝比奈 威 能 岩 瀬 藤 近 山 崎 池 上 大 崎 芥 藤 坂 本 野 村	板 川 中 内 野々下 松 本 明 神 柿 谷 芝 上 白 木 林 山 本
2年	秋 森 市 川 岡 本 山 崎 田 能 松 下 民 部 山 岡	中 平 野 村 濱 田 松 岡 廣 瀬 宮 崎 山 崎 山 下	上 野 小 椋 町 田 山 中 久保田 林 堀 山 崎
3年	岡 崎 岡 田 柿 谷 長 岡 西 内 西 村	威 能 岡 崎 白 木 西 尾 道 倉 渡 邊	川 村 坂 本 永 野 野 並 福 島 依 光
4年	田 中 長 者 松 岡 松 本 長 者 松 田 松 本 矢 野	江 崎 才 市 関 本 林 倉 本 田 中 町 田 山 本	加 用 福 岡 松 本 山 崎 大 野 加 用 谷 本 西 澤
5年	周 治 明 神 安 光 矢 野 湯 岑 有 友 尾 崎 齋 藤 永 野 吉 岡	池 上 白 井 豊 島 野 並 松 田 木 村 瀧 澤 千 谷 ハシミ 水 野	高 見 中 平 平 田 福 井 山 崎 入 川 植 村 岡 本 下 村 船 口
6年	杉 本 西 村 林 山 本 雨 森 武 田 中 平 西 澤	岡 本 谷 口 谷 口 長 崎 栗 本 田 中 藤 近 増 山	加 用 戸 田 中 村 東 沢良木 戸 田 中 脇 松 本

四万十市人権フェスティバル「人権絵画・標語作品展」：四万十市



〔標語の部〕 ●副市長賞● 2年…秋 森 「おはボラで まちをきれいに ピッカピカ」